

審議（会議）結果

審議会等名称

第4回神奈川県県土整備局指定管理者選定審査委員会都市公園部会

開催日時

令和3年4月22日（木） 9：00 ～ 17：00

開催場所

神奈川県庁新庁舎 12階県土整備大会議室

出席者【委員長・副委員長】

浦田 啓充【委員長】

飯島 健太郎【副委員長】

岡本 由美子

青木 利太

川島 裕子

次回開催予定日

令和3年4月23日

所属名、担当者名

都市公園課 計画グループ 中島

電話番号 045-210-6221（直通）

ファックス番号 045-210-8883

掲載形式

プレゼンテーション及びヒアリングの部分については議事録、選定評価の部分については議事概要

議事概要とした理由

本会議は、面接審査のうち、提案に係るプレゼンテーションと質疑応答については、「公開」とし、その後の「評価」を行う「協議」の部分については、指定管理者の募集・選定等に支障があると考えられることから、非公開により運営されたものである。

議事録を掲載することにより同様に指定管理者の選定に支障があると判断されることから、議事概要とした。

審議（会議）経過

1 会議の公開・非公開について

第3回委員会の決定に基づき、本会議の面接審査のうち、提案に係るプレゼンテーションと質疑応答を除き非公開とした。

2 応募団体によるプレゼンテーション及びヒアリングについて

(1) 四季の森公園① 神奈川県公園協会・大和情報サービス・サカタのタネG Sグループ

(委員) 障害者雇用の状況を教えてほしい。

(応募団体) 障害者雇用率は達成している。公園内の就労機会としては、ともしびショップや駐車場の会計業務を、近くにある社会福祉法人と連携して行う予定である。花苗の一部を障害者施設で生産されたものを導入しようと考えている。

(委員) 公園を核とした地域コミュニティなど、地域周辺との連携について詳しく教えてほしい。

(応募団体) ガーデンネックレスの会場については、四季の森公園から徒歩5分くらいの距離にあり、周遊マップの作成や、イベント開催に合わせて、ウェルカムガーデンとして里山ガーデンと同じようなテーマフラワーに合うような花を整備していくことを考えている。また、アクセス道路についての緑化も進めていき、公園と里山ガーデンの間も花を楽しめる環境を作っていく。国際園芸博覧会の際にも、同様にサテライト会場として扱い、開催時期に合わせた花の整備を行い、盛り上げていきたい。

(委員) ビジターセンターに車いすがあるが、南口の駐車場から非常に距離がある。その問題について、どのように対応していくか。

(応募団体) ともしびショップにも、車いすを配置することを考えている。また、事前相談があれば、園内を車で送迎することも考えている。

(委員) 出前サービスについて、具体的にどのように行うイメージか。

(応募団体) 配達の方が奥まで入っていき、お客様に直接お届けするイメージを持っている。

(委員) ガーデンネックレスとの連携で、アクセス道路の緑化費用はどうするか。

(応募団体) 地域緑化推進事業という公園協会独自の事業があり、その中で花苗の配布を行っているので、その事業として緑化を進めていく。

(委員) ともしびショップの運営支援について、具体的に教えてほしい。

(応募団体) 年1回行っているテナント従業員向けの接客研修に園長、可能であれば、障がい者の方も参加できるようであれば、参加していただき、商業施設のクレーム対応等のノウハウを身に付けていただければと思っている。

(委員) 有資格者の配置については、どうか。

(応募団体) 公園の総合的なマネジメントとして、公園管理運営士を1名、自然環境の保全としてビオトープ管理士1名を配置するほか、安全管理の面として上級救命講習を修了した者や防火管理者、安全な作業のためにチェーンソーの特別教育を修了した者等を配置する予定である。

(2) 四季の森公園② 四季の森公園パートナーズ

(委員) 障害者の就労場所や、手話タブレットについて、詳しく教えてほしい。

(応募団体) 障害者の就労場所については、公園内のともしびショップのスタッフとして働いてもらっている。手話タブレットはまだ備えていないが、次の指定管理期間までに、準備できるよう整えている。スタッフと一緒に伝えたいことを、タブレットに向けて伝えると翻訳されるような仕組みになっている。

(委員) 地域課題について、どのように認識しているのか。これからどう対応していくか。

(応募団体) この公園の特性として、市街地に残された貴重な自然環境があり、これを生かすだけでなく、環境の問題を知っていただく機会にしていきたい。ホテルの環境や外来種のことを考えていただく教育の場として、広げていきたい。

(委員) ビジターセンターに車いすがあるが、南口の駐車場から非常に距離がある。その問題についてどのように対応していくか。また、ともしびショップが入口そばにあるが、あまり活かしきれていない印象を受けた。もっと、ともしびショップを活性化するような計画はあるのか伺いたい。

(応募団体) 車いすは、ビジターセンターのほか、ともしびショップにも配置しており、南口駐車場から来園された方は、ともしびショップの車いすを利用していただく形になる。ともしびショップに関しては、公園のイベントに積極的に参加していただき、活性化を図っている。

(委員) ともしびショップの飲食物の販売について、具体的に教えてほしい。

(応募団体) 現在販売しているものは、パン、お菓子、アイスクリーム、飲み物等あるが、今

後は調理するような食べ物を提案していきたいと考えている。ともしびショップでは、障がい者の方と健常者の方が一緒に働いているため、調理を健常者の方に行っていただき、提供を障がい者の方に力を貸していただこうと思っている。

(委員) 環境を考える場を作ると提案しているが、ホタルを自然発生でなく、バックヤードで育てて、それを見せるということでは、ただ単に綺麗というレベルで終わってしまうのではないか。見せ方として、工夫が必要と考えるがその点はどうか。また、それ以外についても、自然環境を考える場としてのプログラムがあれば、具体的に教えてほしい。

(応募団体) まず、ホタルは自然発生しており、バックヤードでの育成も種の保全としての活動の一環として行っている。見せ方としては、ホタルに餌をやるところだけでなく、落ち葉の除去等の環境整備の大変さも伝えていきたいと考えている。横浜の限られた空間での自然環境の変化を、ビジターセンターの展示でお伝えすることはできると考えている。補足になるが、ホタルの生育場所について、過去の台風で土砂が崩れ、生育場所に土砂が流れ込んだこともあったので、そういうことも考えるとホタルを絶やさないためにも、育成、繁殖を行っていくことが重要であると強く感じている

(委員) カタクリの管理について、捕植等を行っているようだが、必要なものなのか。

(応募団体) カタクリの自生地が衰えがあり、日照時間の問題が原因の一つと考えられるので、樹林管理と合わせて、カタクリを増やしていくよう行っている。

(委員) 自主事業の利益還元とあるが、何に還元をしていくのか。

(応募団体) 主に植物管理に利用していこうと考えている。里山の環境整備として、今までやってきた野草の育成を継続、発展させていくことを考えると植物管理が大切になると考えている。

(委員) 有資格者の配置はどうか。

(応募団体) 公園管理運営士は、現在配置できていないが、次期に向けては、配置予定である。樹木医を配置する予定はないが、本部にはいるので、定期的に木の診断を行う予定である。

(委員) ホタルのイメージ写真については、毎年このくらいの数が鑑賞できるものなのか。また、安全面の管理について、家庭用のテントが風で飛ばされる危険があったりするが、対応はしているのか。

(応募団体) ホタルについては、写真のように鑑賞することができる。また、ロープを張るような大きいテントはお断りしているが、家庭用のテントは禁止しておらず、園内を巡視することで管理している。基本的には自己責任としている。

(委員) 健康づくりや子育て支援のプログラムの必要性を感じるが、どう考えているか。

(応募団体) 過去行っていた健康プログラムがあるので、再開していききたいと考えている。

(3) 座間谷戸山公園① (公財) 神奈川県公園協会

(委員) プログラムにおいての障害者対応について、考えを聞きたい。

(応募団体) 募集は広く行い、生物の多様性等について学習ができるよう対応する。手話講習会も実施しているので、そういったものと合わせたプログラムを実施していきたい。

(委員) 中学生の職場体験の提案は、次世代利用の改善を図っていこうという考えか。また、セラピーロードの認定を受けることで、利用者へのフィードバックはどのようにできるか。

(応募団体) 園内の樹林が分かるような体験など、中学校からの依頼を受けていることもあり、今回の提案に至っている。セラピーについては公園内の散策でのリフレッシュに役立ててもらえるように取り組んでいる。簡易的なバイタルチェックも検討している。

(委員) 現在の公園の課題として、巨木化等の問題があるとのことだが、これまでの樹林地の管理について、足りないことがあったということか。

(応募団体) 現在の5年計画でもすでに取り組んでいたが、再生速度が速かったため、次の5年計画では、それを見越して改善していきたい。樹林地管理費用については、前回と同額程度を見込んでいるが、足りない分は公園協会から負担していく。

(委員) レクリエーションプログラムについて、360度カメラを用いた疑似体験動画の配信について、詳しく教えてほしい。

(応募団体) 公園に来なくても公園の様子を見られるように、HP上で配信をしていく。公園の色々な場所が見られるように場所を変えて配信をしていく予定である。

(委員) 外来種駆除について、今までと違う対応を考えているのか。

(応募団体) 現在、20~30種類ほどの外来種が生息しているが、それらをリスト化し、どこに発生し、どのように対応していくか明確化し、マニュアルとして整備していく。

(委員) 谷戸山サポーター登録制度を提案しているが、どのくらいの規模を考えているか。

(応募団体) イベントの際にサポーターを募集し、参加していただく形を想定している。現状では生物の保全活動を行っている団体のイベントや里山体験イベントに必要な作業があれば募集をしている。ボランティアの方の高齢化があり、ボランティア団体の方から募集してほしいという要望もあるので、マッチングする場を設けていきたいという思いがある。

(委員) 有資格者の配置はどうなっているか。

(応募団体) 1名の公園管理運営士が常駐している。本部にも樹木医がいるので、相談をしながら対応していく。

(委員) 運動プロジェクトについて、県の3033運動を促すために血圧計を配置するなどの提案をしているが、もう少し積極的なアプローチはないか。

(応募団体) ノルディックウォーキングというのをやっており、運動を促せるよう工夫をしている。

(4) 座間谷戸山公園② 日比谷アメニス(株)

(委員) 障害者雇用率は達成しているか。個人情報保護に関して規定を設けているか。

(応募団体) 障害者雇用については毎年改善をしているが、まだ若干足りないというのが現状である。相模三川公園においては、現場での積極的な雇用は行っている。個人情報については、個人情報漏洩損害保険に加入している。

(委員) 「谷戸山野外博物館」というコンセプトについて、学芸員を現場で活用する構想を持っているか。学芸員について、文科省や県の教育委員会と連携して、谷戸山を博物館相当施設にする構想を持っているのか。

(応募団体) 学芸員資格を持っている者が本社におり、全現場のサポートをするという役割で、企画等を行っていく想定である。博物館という名前にしたのは、あくまで利用者が親しみやすくなる思いを込めて名付けている。

(委員) 学生インタープリターの活躍について、人材のあたりはつけているか。

(応募団体) 会社として色んな大学と関わりがあり、特に近くにある日本大学の学生や自然関係のアルバイトを経験している方などへ、募集を広くかけて対応をしていきたい。

(委員) 遠隔手話通訳サービスについて、具体的にどのようなものか。

(応募団体) 手話通訳が必要な方に、窓口まで来ていただき、遠隔地にいる手話通訳者とやり取りしてもらおう形を考えている。

(委員) 夜間の防災訓練とあったと思うが、どのようなものか。

(応募団体) 昼間に夜間を想定した訓練をしている。

(委員) 植物のモニタリング調査とは、どのようなことをするのか。

(応募団体) 公園内の動植物について、データとして収集し、保存していくことを考えている。

(委員) 自主事業で、プロの講師による一味違った自然観察会とはどのようなものか。

(応募団体) 外部の講師を雇うことで、自然を深く知っていただき、楽しんでいただければと考えている。

(委員) 樹木医による定期的な樹木診断とは、どのように行うのか。

(応募団体) 本社にいる樹木医のサポートにより、定期的に行うように考えている。全体を見るのは年1回を想定している。

(委員) 日常の事故防止において、障害のある方や外国の方のような通常の会話が通じない方への対応について、教えてほしい。

(応募団体) 公園の接客については、すべての人に平等に接するというスタンスをとっている。有事の際にもそのスタンスをもって取り込んでいく。コミュニケーションチャームを用いて、会話ができるようスタッフに常備させている。

(委員) 有資格者の配置について、教えてほしい。

(応募団体) 公園管理運営士を常駐させる予定である。

(5) 保土ヶ谷公園 神奈川県公園協会・サカタのタネグループ・オーチャー共同事業体

(委員) 障害者雇用について、グループ全体で法定雇用率を達成しているか。また、障害者が働く場を設けているか。また、有料の預かり保育の実施とあるが、保育士の確保の予定はどのようなになっているのか。

(応募団体) 障害者の法定雇用率については、グループ全体としては達成している。障害者の雇用は今のところ公園としてはないが、継続的に障害者施設の清掃活動、障害者施設が手掛けたパンの仕入れ販売を実施している。預かり保育については、NPOと連携して、保育士、厳密に

は保育士でなくても良いが、その方に用意したスペースでお子さんを見ていただき、親御さんには、バレーやテニスなどスポーツを楽しんでいただけるような取組を発信していきたい。

(委員) 安全面を伺いたい。熱中症警戒アラートについて、ラグビー場は60℃近くになる。天然芝、特にラグビー場などは60℃近くになるが、倒れた人がいた場合の対応について、通常熱中症アラートより、先取りした対応は何か考えているか。また、地域の高校との連携を進めていくとのことだが、公園の周りには、小学校、中学校、高校とある中で、小学校、中学校も含めた地域連携の構想はあるのか。

(応募団体) 熱中症対策について、確かに地面が熱を持ちやすく、ラグビー場は利用者の方からも非常に暑いとの話をいただいている。今のところ、28℃の設定だが、色々な業者の意見を聞きながら、設定していこうと思っている。暑さ指数を用いた対応を行っている。ラグビー場は非常に暑くなることは認識している。利用者の意見を聞きながら対応していきたいと考えている。また、スプリンクラーも修理されることから、それも含めて熱中症対策につなげていきたい。

地域連携の関係だが、小学校、中学校、高校とは、個々に連携をしているが、体系的な大きなプログラムはできていない。小学校のチューリップの花壇づくりから、中学校は体験学習、高校では部活動の支援、ボランティアのご協力をいただいているので、そういった意味では、お子さんが、保土ヶ谷公園を舞台に成長していただければと思っている。

(委員) 子育て支援に力を入れているのはありがたい。紙オムツやミルクの販売もやっている。さらに、公園で授乳施設スペースは、現在あるのか。もしなければ、今後作る予定はあるかどうか。また、利用者の数の目標について、提案書で年度ごとの目標が確認できなかった。その点を教えてほしい。

(応募団体) 授乳室だが、預かり保育の場所に、授乳やオムツ替えができるスペースを設けている。

(委員) それは、預かり保育利用者以外の誰でも利用できるのか。

(応募団体) 使える。それから提案書に記載はないが、広場の近くに体育館があり、そこにも授乳スペースを作ればと思っている。

(委員) 利用者数の目標の方はどうか。年度ごとの目標は作っていないのか。

(応募団体) 年度ごとは作っていない。過去5年間で利用者数が多かった数値から、7%増を目指している。毎年右肩上がりというのではなく、コロナ禍といった外的要因もあるので、5年間の中で、この数字を達できればと思っている。

(委員) 運動公園という特性を生かして、健康づくりや子育て支援を絡めたたくさんのプログラムを提案しているが、利用者数でいくと、前年比でマイナスとなっている。イベントに人が集まらなかったということもあると思うが、その点を教えてもらいたい。

(応募団体) 令和元年度は台風があり、被害を受けた影響がある。また、ゲリラ豪雨などもあり、一番の集客がある保土ヶ谷区民祭りは毎年5万人を見込んでいるが、これが中止となったことがある。

(委員) 保土ヶ谷消防署の指導のもと消防訓練を実施とあるが、定期的に、年に何回といったことはあるのか。

(応募団体) 年1～2回、消防署、当協会だけでなく、高校野球連盟も一緒になって、高校野球大会開催時の災害を想定した訓練を実施している。

(委員) 他のサッカー場、ニッパツ競技場や日産フィールドと最新の技術を共有すると書いてあったが、具体的にはどのような技術を共有していくのか。

(応募団体) 当公園はJリーグの練習会場として使われている。グラウンドの芝生の管理についてお互い情報共有、意見交換をしている。

(委員) 三つの芝生の状況というのは割と似ているのか。

(応募団体) 芝生の管理を行うに当たって、固さや芝生の密度の測定器を新横浜公園と同じものを使ったり、根の張り方なども情報を集約したりして、同じような管理水準でできているか確認している。

(委員) 預かり保育は、指定管理の業務の中で行っているのか。

(応募団体) 指定管理の業務の中で、対応していけると思っている。

(委員) 備蓄の更新、充実はどのようになっているのか。

(応募団体) 最大の避難者数を想定した1日分の備蓄は、常に確保している。保存期間もあるので、更新もしている。

(委員) スポーツ施設の予約は集中することがあると思うが、抽選はどのように行っているのか。

(応募団体) 予約は2通りある。1つは一般の場合で、県のインターネットシステム(e-kanagawa施設予約システム)により予約してもらっている。もう1つは、ラグビー場や硬式野球場は、1年前から予約が入る。利用調整会議によって決めている。

(委員) 個人の場合、抽選は、立ち合いのもとで行っているのか。

(応募団体) 予約するインターネットシステムにより、我々の関知しないところで無作為に自動抽選されている。

(6) 葉山公園及びはやま三ヶ岡山緑地 三菱電機ライフサービス(株)

(委員) 障害者雇用についてはご理解をいただき、葉山の就労体験というのも働くことの実感が沸くものだと思う。そうした中、公園で実際に就労している障害者はいるのか。もしなければ、今後どうしていくのか。また、134号は渋滞しやすいが、周りに影響が少なくなる対策はとれているのか。

(応募団体) 公園内で障害者の方は働いてはいない。ただ、就労体験として、関係の施設と打合せを行っている。公園で働きたいという方を積極的に受け入れている。居住地の遠近があるので、具体の公園での就労には至っていない。なお、鎌倉市の公園では、就労体験から雇用につながった例がある。

駐車場については、国道からのアプローチが狭いが、混雑する時間はある程度分かっているので、その時間は駐車場の管理人の数を重点的に増やしている。近隣の住民の方の往来もあることから、地元のことを分かっている人でないと対応が難しいことがある。ただ、顔見知りになって、近隣の方々の要望にも迅速に対応できるようになり、コミュニケーションができている状態になっている。順調に推移していると考えている。

(委員) 車庫から出られないなどの苦情はないのか。

(応募団体) まったくないということはない。朝一番の8時開門だが、その前に並んで待たれる方は多い。例えば、7時くらいから並んでいる場合もある。そこは近隣に配慮し、8時開門であっても、その時だけは7時40分から開けることもある。柔軟に対応しているが、あまりそういう対応をしすぎると、それ以前に並んでしまうこともある。ただ、混雑する時というのは、大きなイベントを開催していることが多いので、そういう時に、イベントの主催者をお願いをして、主催者側から応援をいただくなど、理解をいただき、現在はスムーズに運営していると思う。

(委員) 海浜植物の維持について、水際から砂浜のような場所があってハマナスを守る視点と、群落を形成している多様な種類を守ろうという、異なる視点があると思う。海浜植物の維持保全について、特に注意していることがあったら、教えてほしい。

(応募団体) 色々な植物が生育していて、機械除草は難しい。特にハマナスはバラ科の植物で手作業も難しく、正直、苦しみながらやっている。機械を使うと一気にそれらが刈られてしまうので、基本的に法面の作業は手作業となる。ハマナスについては、最近の温暖化の影響からか決して状態はよくはないが、場所を限定して保全を図るなど行っている。

(委員) ハマナスなどメジャーなものは守りやすいが、例えば、タイトゴメが生育しており、専門の植物図鑑で最初書いているのは、横須賀葉山タイプの植物となっているほどだ。それはなかなか知られていないが、記録としては非常に大事だと考えている。

(応募団体) 私も勉強不足であるので、年に1回植物勉強会をスタッフの中で行っている。利

用者から聞かれることもあるので、全員のスタッフで葉山公園、三ヶ岡山緑地、それぞれ勉強会を行っている。

(委員) 公園の入り口が分かりにくく、行ったり来たりしてやっと辿り付けたという感じがする。看板も分かりにくく、その辺りはどう考えているか。

(応募団体) なかなか、大通り沿いに大きな看板を立てづらい事情がある。リーフレットやホームページを通して、詳しく入り口の方を案内できるようにしている。また、三ヶ岡山緑地は三つの上り口があるが、その三つの登り口から山頂までの紹介動画を作成していることや、どういふところに危険箇所があるか、分かるようになっている。看板はあるが、まだ小さいかもしれず、協議をしていきたい。

(委員) スマートパークの記載があるが、将来的にやりたいということか。カメラと精算機のみで済むと思うが、費用対効果の面はどのようになっているか。また他での導入実績はあるのか。

(応募団体) 現在は前払い制で有人管理により行っており、お金を最初に払う時に車が止まる、さらに満車状態になった時に車を止めてしまうが、支払い場所付近でUターンできないなどの課題がある。カメラ式については、今後神奈川県と協議していきたいと思っている。ゲートは不要になる。事後精算でカメラによりナンバーを確認する。車を止めるゲートがないので、車を回遊させて出させることができ、行列の解消にもつながる。それとともに駐車券もなく、ランニングコストがかからず費用的にもメリットがあり、ゲートの損害もなくなる。他の施設だと、三浦半島地域の大きな商業店舗にも導入され始めている。まだまだ始まったばかりだが、非常に有効だと考えている。

(委員) 導入は、今回の5年間の中でと考えているのか。

(応募団体) 今回、指定をいただいたならば、今年度中に協議させてもらって、県の費用でやるのか、それとも指定管理の方でリース化して経費とするのか、そういったところを詰めていきたい。

(委員) 三ヶ岡山緑地での自主事業はやらないとのことだが、まったくやらないのか。

(応募団体) 葉山公園は有人だが、三ヶ岡山緑地には建物といった施設がなく、主に巡視したり、作業をしたりといったことになる。そうした環境で、なかなか自主事業というのは難しいと思っている。利用促進という話であれば、イベントでのハイキングやスタンプラリーがあるが、そういったところを一つでも増やしていければと思っている。

(委員) 現地の統括責任者は、公園管理運営士の資格を持った人がいるということでよいか。

(応募団体) そのようになっている。現状は1日おきに現場に行っている。ただ、現場で打合

せをするだけでなく、色々な作業も行っている。今後も現場で頑張っていきたい。

(7) 湘南海岸公園 (株)湘南なぎさパーク

(委員) 365 日体制の管理は大変だと思うが、取組としては良いと思う。また、障害者雇用率は上がっていると思うが、公園内での障害者雇用について計画があれば教えてほしい。

(応募団体) 申請する時点では、園内の障害者雇用はゼロであったが、この4月に1名採用した。採用自体は障害の有無に関わらず、その方の能力と仕事の内容に応じて選考しており、障害者の方であろうと、できる仕事があれば採用していくという方針である。

(委員) 公園内で障害者の方を採用する際に、特性を生かして、職種を新たに作るということはないか。

(応募団体) 今回の採用は、駐車場の管理業務となっており、業務ができる方であれば、障害に関わらず選考していく。

(委員) この公園は、松林などの海岸林の管理が重要で、手入れの部分、保全もあれば新たに再生しなければならない部分もある。防風林、防砂林としての機能も有している。色々な意味で過渡期かもしれないが、最終的な森林イメージと、指定管理の5年間でどれくらいに再生させていくのか、その考えや構想があれば教えてほしい。

(応募団体) まず、密生のままだと、横に根を張っていくのでこれに留意している。5年間で徐々に、新たに松を植え、密生しているところは枝を落として、細い松は間伐するなど、着実にやっていきたい。

(委員) 長大なエリアだが、総延長全てを松にしていこう、ということでしょうか。

(応募団体) 一部密生しているところや、傷んでいるところがあり、そういうところを重点的にやっていこうと思っている。

(委員) 季節によって利用者数に差があると思うが、閑散期の対策があれば教えてほしい。

(応募団体) 実は繁閑の差はさほど大きくはない。夏場の海水浴シーズンは当然多いが、サーフィンのメッカとなっているので、真冬でも波があがれば人が集まる。そういった中で、イベント等をやりながら、お客様に来てもらえるキッカケづくりをしていく。

景観が良い公園であり、海が眺められる、富士山、伊豆半島、江ノ島と一体感を持てるようなイメージで、公園を管理できればと思っている。古くなった縦柵を撤去して、取り除いた結果、

眺望が良くなったので、そういったところに椅子を置いて、利用者が眺望を楽しめるようにしている。

(委員) イベントはこれまでやってきたことが書いてあるが、新たにやるものは見当たらなかった。イベントを増やすよりは、今言われたような景観をさらに良くするような環境の改善や、SNSでの広報で利用者増をはかるといった方針と考えてよいか。

(応募団体) イベントは大事だと思っているが、すごく貴重な景観のある公園なので、それを使わないのはもったいないと思っている。多くのお客さんがお越しになられているので、そういった声を生かせればと思っている。

(委員) ごみ問題は消えない。イベントなどもやられて取り組まれているが、ボランティアとの関係や効果はどうなっているのか。

(応募団体) 海岸の方は多くのボランティアや、会社の社会貢献関係で、土日などに多く参加してもらっている。ボランティアの事務局の荷物運び等は、バックアップしている。園内の清掃は我々で行っているが、家庭ごみが多かった。海岸ごみも家庭ごみが多く捨てられている。海岸清掃を行っているかながわ美化財団、藤沢市、藤沢土木と連携しながら、どうやってごみを減らすか、ごみ箱をどこに設置するか、日々話をしながら進めている。

(委員) イベントが単発に終わらず、つながっていくということは大切だと思う。

(委員) 津波対策は必要だと思うが、異常気象の対応に津波が入っていなかった。津波が来た時に、大勢の方をどこにどう避難させるのか。避難の仕方のマニュアル作成や、定期的な訓練をしているのか。

(応募団体) 公園の中に津波避難タワー、新江ノ島水族館は避難場所になっている。近隣の国道北側に108箇所、市の津波避難ビルが指定を受けている。年2回、藤沢市と消防関係と連携して津波避難訓練を実施している。その際にはライフセーバー、藤沢市みらい創造財団、新江ノ島水族館と一斉に訓練している。サーフビレッジには、津波避難箇所の地図を掲示している。何かあった場合は、津波避難タワー、もしくは新江ノ島水族館、民間ビルに避難してもらう考えでやっている。

(委員) 今の話の関連で、定期的な避難誘導訓練はやっているのか。

(応募団体) 大きな訓練は年2回だが、年に1、2回は、職員が少ない時に地震や津波が来たときにどう対応するかを会議の中で打合せしている。

(8) 城ヶ島公園 三浦市観光協会・湯山造園土木・京浜急行電鉄グループ

(委員) 外国人の対応、翻訳通訳機がどういったものか。また車中宿泊の対応はどのようになっているのか。

(応募団体) 通訳機の方は、神奈川県の方からの補助金を活用して購入を検討している。具体的な機械はまだ決まっていない。補助金で購入できる機器は決まっていると思うので、県の方と相談しながら購入したいと思っている。また、車中泊は、城ヶ島のユースの跡地を活用して、将来的に宿泊体験できる施設としていきたいと考えている。

(委員) 管理が大変だと思うが、どうか。

(応募団体) 具体的なことはまだ決まっていない。常設になるか、試験的になるかも決まっていないが、宿泊をやりたいというJVを組む京浜急行の意向もあるので、目標として考えている。

(委員) 城ヶ島という資源を最大限に生かしていくために、これまでの対応をしっかり継続していくという印象であるが、次の5年でチャレンジしてみたいことはあるか。例えば、周辺の施設を含めて回遊させていくアイデアがあるか。

(応募団体) 今回、京浜急行がグループに入った。公園の維持管理は、公園協会と湯山造園土木が中心に行い、京急急行が広域的な観光プロモーションを担っていく。現在、三浦 Cocoon というWebサイトや、アプリを作っていて、全て電子決済できるようになり、城ヶ島だけでなく、油壺マリナーパークや関連施設、周辺の関連施設と共同して城ヶ島公園をPRできるようにという方向で模索中である。

(委員) 京急が入ったことにより、回遊性が改善されていくという提案があってもよかったと思われる。

(委員) 利用者のアンケートで、改善点などの評価は把握しているのか。それに伴い、今後の5年間で改善していかなければならない、というようなことはあるか。

(応募団体) 現状、色々のご意見をいただいている。城ヶ島公園は、施設としては自然をメインにした風致公園であることから、大事なのは樹木の手入れ、草花、芝生の管理だと思われる。あとは、よくいただく意見はトイレが古いという点。指定管理者としては、できる範囲で新しい機材を入れたりしている。大規模な改修などは、神奈川県と協議、相談したい。

(委員) 樹木管理で、木が邪魔でという話はないか。

(応募団体) これまではない。

(委員) 景観が素晴らしく、景観を見に利用者が来る。そこをさらに利用者数を増やすために周知とあるが、具体的にはどういうことを考えているのか。ウミウ・ヒメウ・クロサギの生息地など、特徴的なこともあるが、その辺りも含めた利用促進について、何かあるか。

(応募団体) ウミウ等については、見学会を実施していたが、現在は、新型コロナウイルスの関係で中止している。今の状況が改善されれば、復活させていきたい。

(委員) 地震が発生した際の津波対策は、どのように考えているか。

(応募団体) 第一駐車場は比較的標高が高く、津波の時の避難場所に指定されている。車で避難する場合もあるので、駐車場は閉鎖しないような体制をとっている。

(委員) 利用者数の目標が、年間50万と実績よりもかなり大きい数値になっているが、この実現性はどうか考えているのか。

(応募団体) 年間50万人とは、現在の利用者数よりも多い数字になっていると承知している。今回、京浜急行がグループに入ってきたこともあり、城ヶ島だけではなく、三浦半島全体でお客様を呼ぶという調整を図っていく。東側の公園と、西側の城ヶ島京急ホテルのリニューアルもあり、城ヶ島全体、一つのエリアとして、できるだけ三浦市域にお客様を呼ぶというのが大前提と考えている。城ヶ島大橋が無料化となり、それも追い風と考えている。

(委員) 今回から京浜急行に加わったが、こういう役割を果たしてもらって、公園全体としてバージョンアップしていくという部分の説明がやや足りない気がする。

(応募団体) 京浜急行とは、随時情報共有を行っている。京浜急行の役割としては、広域的な観光拠点としての機能強化に向け、沿線全体からの集客や近隣エリアの施設とも連携をした集客を狙っていくという話をしている。三浦半島を一つのエリアとし、電車の乗降客を増やしていく、三浦市や城ヶ島をPR、盛り上げていくということで、今回グループに入りたいという話があった。

(委員) 城ヶ島公園の駐車場料金の450円は、やや高いという印象がある。三浦半島内で、様々なところを回るとなると、公園内に1時間もいない中での450円は高いという気がするが、どう考えているのか。

(応募団体) 利用者からはワンデーで何回も出入りできて450円というのは安い、という声を聞いている。

(委員) 人的な執行体制を確認したい。どういう資格の方を何名配置しているかが、よく分か

らない。例えば、園長は公園管理士かどうか、また研修体制はどのようになっているのか。

(応募団体) 公園管理士の資格所有者はいない。公園の従事者は、上級救命講習、その他安全作業の資格をとるようにしている。コロナの関係で中断していたが、順次取得するようにしている。研修については、基本的には安全講習を受けおり、作業に必要な資格はとっている。

(委員) 三崎に寄ったら城ヶ島に寄るような流れを作った方がよい。まずは、三崎に来た人の何割を呼ぶといった目標を立てられると良いと思う。

(9) 恩賜箱根公園 神奈川県公園協会・ランドフローラ・小田急箱根HDグループ

(委員) 障害者雇用について、法定雇用率の達成状況と、公園内での雇用の状況について教えてほしい。また、逆パトロールとはどういうものか、具体的に教えてほしい。

(応募団体) 障害者の雇用率だが、公園協会は達成している。小田急ホールディングスは従業員数から法定雇用義務はない。ランドフローラが達成できていないが、受入体制の見直しをして対応していきたい。

(委員) 具体的な策はあるのか。

(応募団体) 弊社での業務体験などを通して、受入れを図っていきたい。逆パトロールについては、通常のルートだと高低差が40mもの傾斜があるなか、上りと下りでは、見え方がことなることから、両方向を注意して点検するもの。

(委員) さらに利用を促すという時に、何か考えていることがあれば教えてほしい。

(応募団体) 三島市立公園楽寿園、沼津御用邸記念公園、秩父宮記念公園と私達で構成する協議会有り、『皇室ゆかりの庭園』ツーリズムとして4公園を周遊してもらおうと企画している。元年度は小田原駅発着で4公園をまわるバスツアーを企画している。2年度は浜松発着で企画したが、コロナの影響でできなかった。

(委員) このツーリズムでの4箇所を、一気に周るというのは、なかなか距離があるという印象だが。

(応募団体) 4公園まわるのはせわしないという意見もいただいているが、盛り上げていきたい。

(委員) 箱根も色々あり、利用者が減っている。台風などもあったと思うが、この理由はど

のようになっているか。

(応募団体) 令和元年は台風の関係、令和2年はコロナにより減っている。令和2年は令和1年と比較して6割となっている。

(委員) 交通渋滞の緩和について、具体的にはどのようなことを考えているのか。

(応募団体) 箱根全山の渋滞対策に取り組んでおり、箱根観光協会とも連携している。令和2年度は、大涌谷駐車場の混雑状況の発信と各観光施設でどういう感染症対策をしているか情報発信している。

(委員) コンプライアンス関係で確認だが、グループ代表企業の記載はあるが、指定管理業務を行うにあたって、他の企業もグループ代表企業の規定に沿って活動するというだけでよいか。

(応募団体) 指定管理事業を行うにあたっては、代表企業の公園協会に規定に沿って他の企業の方も行動していただく予定。

3 協議について

2の内容をもとに応募団体の提案等の評価を決定するための協議を行った。